



NPO PTPL “ともいき” 便り No.149

平成30年（2018年）6月21日発行

■夏至（げし） 平成30年6月21日から7月6日までの節気

東京は梅雨の真っ只中です。みなさま、いかがお過ごしですか。二十四節気では6月21日から7月6日まで、「夏至」に入ります。6月21日は太陽がもっとも高くのぼり、昼が一番長く夜が短い日です。これから、どんどん暑くなっていきます。6月30日は夏越しの祓えです。半年の穢れを落とし半年の無病息災を願いながら、茅の輪をくぐります。私は毎年、夏越しは浅草神社、年越しの祓え（12月31日）は築地の波除神社ですることになっています。（ともいき暦6月30日をご覧ください。<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>

先日、お屠蘇セットのお盆に割れ目がはいつてしまったため、青山にある伝統工芸青山スクエアの「工芸品クリニック」に修理をお願いしに行ってきました。輪島の職人さんが丁寧にみて下さいました。「50年ほど前のものですね。」と言われました。母から引き継いだのでなん年前のものか正確にはわかりませんが、もう少し前のものじゃないかと思います。職人さん曰く、割れ目をひらいて、そこに漆をいれて修理するのだそうです。色が少しかわってしまうけれど、それも模様のひとつと考えれば気にならないので、お願いすることにしました。修理費は6000円。年末にはできあがるそうです。職人さんに「高いところではなく押し入れの下側においてください。乾燥してしまいますから。」と注意を受けました。空調完備のレンタル倉庫に入れておいたのが、よくなかったようです。気をつけます。自然の湿気と温度がいいのですね。

青山スクエアには、江戸風鈴が売られていました。魔除けの意味のある赤地に松と宝船の絵が描かれています。めでたい図柄です。他にも花火、すいか、朝顔、金魚など涼しげな風鈴が吊るされていました。江戸切り子や箱根寄木細工、透かしのはいった京うちわ、南部鉄瓶などなど。伝統工芸は美しくて、いいですね。高いですけど。

夏至は、暗くて長い冬が続く北欧の人たちにとっては特別な日だそうです。盛大に「夏至祭」がおこなわれます。例えば、フィンランド。広場で大きな焚き火をして民族衣装をきておどったり、家のなかを白樺やライラックの花でかざったりします。スウェーデンでは、レックサンドの夏至祭が有名だそうです。広場の中央に白樺の枝や草花でつくった太陽を象徴する丸い環の飾りをつけた祭柱を立てて、この柱を中心に輪になって朝まで踊り明かします。楽しそうですね。

日本では夏至は一番農作業の忙しい時期なのでお祭りというのはとくにないのですが、夏至の七十二候の末候「半夏生ず（はんげしょうず）」のころ（7月2日～6日）は田植えを終わらせる目安とされていました。そのころ、農繁期を終えて一息いれるという意味で関西ではタコを食べる習慣があるそうです。「タコの足のようにしっかりと稲の根がはるよう」 という意味があるとか。

また最近地球環境への警鐘を鳴らす意味で、夏至と冬至に照明を消してろうそくを灯し、親しい人たちと過ごそうという100万人のキャンドルナイトが行われるようになりました。夜の8時から2時間、東京タワーも消灯します。

キャンドルもよいのですが、石油素材のものではなくできたら自然素材で作られた和ろうそくや、ミツバチのミツロウキャンドルを使ってほしいなと思います。夏至の節気の満月は、6月28日です。お月さま、見られるといいですね。

これから暑さに向かいます。くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●林明日香さんが歌う「一粒の種」をお聞きください。

約700万年前、人類が誕生したのはアフリカの草原でした。(猿人)そして、奇跡と偶然の繰り返し、積み重ねによって、「原人」そして「新人(ホモ・サピエンス)」がアフリカで誕生し、そしてその一部はアフリカを出てユーラシア大陸に進出し、その後、ヨーロッパへ、アジアへ、そして南北アメリカ大陸まで広がっていきました。

このような壮大で雄大な人類誕生と、地球上の人類の旅の物語を感じる歌で

はないでしょうか?!!!

※「ジャパネスク」サイトメニューの「日本を見る」の最後の枠に「一粒の種」の映像と音が入っています。是非、ご覧ください。

<http://www.japanesque.tokyo/look055.html>

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■特別寄稿

「雪路さん。あなたともう一度会いたい。」2

朝丘雪路さんは、2012年3月に銀座十字屋さんで「生まれ育った銀座」というテーマで話をしたことがあります。わたしも会場にいました。雪路さんはあでやかな着物姿で、銀座の思い出をたのしそうに語っていました。話のなかで特に印象に残っていることがあります。それは、「銀座をパパ（伊東深水）と歩いていたとき、柳の若葉のかおりがしてきたの。忘れられないわ。」という言葉です。いつごろのことなのかはわかりませんが、柳の若葉のにおいに気づくなんて、すてきな人だなと思いました。

雪路さんのお母さん、つまりわたしの祖母は、築地で日本料亭を営んでいました。わたしも子ども心におぼえているのは、夕刻になると玄関に水がまかれ、お花が活けられ、いいにおいがしていたということです。お客様を迎えるために打ち水をし、お花を活け、お香をたいていたのですね。そういう環境のなかで雪路さんも育ったので自然に嗅覚が研ぎ澄まされ、花や美しいものが好きになっていったのかもしれませんが。

雪路さんは歌謡曲、ジャズ、スタンダードナンバー・・・どんな曲でも雪路流に歌いあげました。雪路さんがとくに気に入ってくれていた「タピラス」にも、

実は「タピラスのうた」というタイトルの歌があります。「タピラスのうた」、雪路さんにも歌ってほしかったと、今しみじみ思います。

すとう あさえ（幼年童話作家・NPO PTPL 会員）

※「タピラスのテーマソング」はこちらお聞きになれます。



<http://www.tapirus.tv/etc/song.php>

■事務局便り

●今まさに、梅雨の真っ只中。ジメジメ、ジトジトとうっとうしい日が続きます。でも、この時季雨が少ないと水不足になり、生活に大きく響きます。沖縄を含め各地の水源であるダムの貯水量もまだまだ予断はできません。雨の日を楽しむ工夫が必要です。身近では雨に濡れたアジサイ見物などいかがでしょうか。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp